

菅野駅前ロータリーの施設計画に関する説明会（第2回）

日 時 令和5年2月14日（火）19:00-20:30

場 所 日出学園視聴覚室

参加者 56名

市職員 道路交通部職員10名（藤田道路交通部長・岩井道路交通部次長・西倉交通計画課長ほか交通計画課職員7名）

19:00 開会

市（司会）定刻となりましたので、ただ今より、第2回菅野駅前ロータリーの施設計画に関する説明会を開催させていただきます。

本日司会を務めさせていただきます。市川市交通計画課の三上と申します。よろしくお願いいたします。

最初に、本日お配りしております資料を確認させていただきます。お手元に資料があると思いますけども、説明会の次第ですね。それから、検討案1、検討2、最後に、菅野駅前ロータリーの施設計画についての意見、となっております。資料のない方いらっしゃいますか（ない方が挙手）。後でお持ちします。

本日の説明会では、記録のための録音、会場の状況を撮影させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、説明会は、会場の都合もありまして、午後8時半頃を目途というふうを考えておりますので、ご協力の方よろしくお願いいたします。

それでは出席している職員を紹介させていただきます。

（職員紹介）

その他、会場作業として交通計画の職員が出席しております。

では次第に基づき進めさせていただきます。まず道路交通部長藤田よりご挨拶させていただきます。

部長）道路交通部長の藤田です。本日はお忙しい中、菅野駅前ロータリーの施設計画の第2回説明会にお集まりいただき、ありがとうございます。

今回は前回の説明会から、皆様のご意見を踏まえて、2つの検討案をお示ししておりますので、それを基に、さらに皆様からご意見をいただき、検討案として集約をしたいと思いますと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、日出学園の関係者の方々には、お忙しい業務の中、このような立派な会場をご提供いただきまして、ありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

前回、11月の22日に説明会をしましてから、皆様から多数のご意見をいただきました。

そして、いただいたご意見の中には、菅野駅前ロータリーの計画が、住民の皆様への説明がないまま、入札、発注へと進んでしまったのか、検証なくして、今後も同じことが起こらないとは限らないと、市の説明を求めたいと、ご意見をいただきました。

本日、説明会を始める前ですけれども、この点について、この場をお借りして、改めて一言申し上げさせていただきたいと思います。

この駅前のロータリーの施設計画については、令和2年度以降、皆様への説明をしておりませんでした。本来、説明会等を開催して、皆様と意見交換をしながら、納得をいただきながら、進めることが必要であったのではないかと、これは認識を新たにしております。この点につきましては、申し訳ございませんでした。

今回、2回目の説明会ではありますが、皆様と意見交換をしながら、納得いただける案を策定し、駅前ロータリーの整備に向けて、会を重ねて進めていく所存ですので、どうかよろしく願いいたします。以上でございます。

市（司会）続きまして、提出された意見、及び検討案につきまして、事務局より説明させていただきます。市からは、2つの検討をお示ししております。本日は、これらの案から、皆様のご意見を集約して参りたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。それでは説明の方、お願いいたします。

課長）はい、交通計画長の西倉でございます。皆様におかれましては本日お忙しい中、説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日出学園の皆様には、年度末、また学年末のお忙しい中、このような会場をご提供くださりまして、ありがとうございます。

前回説明会を11月22日に開催させていただきまして、12月の22日まで、皆様からのご意見を募集しました所、大変多くのご意見をいただくことができました。誠にありがとうございます。すでにホームページの方には掲載させていただいておりますが、市では、いただいたご意見を踏まえまして、今回検討案を2案作成いたしました。

まず1つは、多くのご意見に沿い、ロータリー中央部は、南北とも緑地として、駐車場などの施設整備を行わないものとなっております。

もう1つですが、北側のロータリーについては、緑地を基本としつつ、規模の小さな駐車場を整備し、南側のロータリーについては、当初案にございました、タクシープールを設けるものでございます。

本日、この案についてのご意見を皆様からお聞きし、方向性を定めたいと考えております。市からの説明は、まず、これまでいただいた意見と市の対応方針についてご説明させていただき、次に、2つの検討案について、ご説明いたします。

説明後に質疑に移らせていただきまして、皆様のご意見を集約して、案を絞りたいと考えております。

その上で選ばれた案の詳細な検討に向けたご意見等をお伺いできればと考えております。それでは、具体の計画経緯、内容につきましては、担当の方から、これから説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

市) 交通計画課小泉です。よろしくお願いいたします。

(以下スライドでの説明)

このページは、前回の説明会以後の経緯でございます。11月22日、説明会開催した後、12月22日までご意見を募集いたしました。12月23日に説明会の議事録をホームページに掲載し、1月25日にいただいた意見と市の対応方針検討案をホームページに掲載いたしました。今回の説明会の開催案内を、1月30日、31日に各戸に配布いたしました。また、ホームページには、本日ご出席できなかった方向けにご意見を投稿出来るよう、ページを作成し、本日午前中までご意見を受け付けました。

こちら、前回の説明会でご説明した当初の計画図です。図の左側が駅の北側になります。

そこには大型車待機所、タクシープール、駐車場を配置し、線路の南北に駐輪場、南側にタクシープールを計画したものです。

ここから9ページにわたりいただいたご意見と市の回答内容をご紹介します。主なものをご紹介します。

ご意見は全体では78名の方からいただき、内容を抽出した所、327件のご意見をいただきました。多くの貴重なご意見をありがとうございました。詳細は市のホームページに掲載しておりますが、同様の意見別に70種類に分類しております。表では多い時に並べております。

意見が2件以下であったものを表末尾にまとめております。

まず、最も多かったもの、ロータリーの中央部を緑地・公園とするよう求めるもので、具体的には、北側ロータリーは菅野地区の特徴であるクロマツをはじめとする樹木と植栽の多い緑地として欲しい。

北側ロータリー中央部に菅野北口公園利用者用の駐輪場・トイレを設置して欲しい。

あるいは交通量が増え、子供たちの通学が危なくならないよう、公園等の施設建設を希望するなどのご意見がありました。

今回ご提案する検討案1はこうした意見を踏まえて全面、植栽地としております。ただし、公園やトイレ、駐輪場など、ロータリー車道部を多数の方が横断することになるため、安全上の懸念があることから検討案には盛り込みませんでした。

続きまして当初計画案の白紙化、全面的な見直しを求めるもので、具体的には、北側ロータリー中央部の整備は一切やらなくて良い等のご意見がございました。

また、これとは別に大型車待機所の取り止めを求めるものが24件、駐車場の取り止めを求めるもの21件、また、タクシープールの取り止めを求めるものが18件、ござ

いました。

駐車施設の取り止めについてはこのように多くのご意見をいただきました。次のスライドに移ります。

南側ロータリーへの駐車施設整備を求めるものが12件ございました。具体的には、南側ロータリーの中央部にはタクシープールのほか、送迎車駐車場、無料時間があるものを設けて欲しい。主要な商業施設や諸官庁が南側に位置し、それらへのアクセス、交通利便性を考慮しても、南側に施設を集約する方が明らかに合理的で自然といったものがございました。

今回の検討案の2は、北側ロータリーに一部駐車施設を設け、南側ロータリーにタクシープールを設定したものとなっております。

続きまして施設規模の縮小を求めるものが12件ございました。具体的には、時間貸し駐車場、及びタクシープールは最低限とする。利用者がどれほどあるのか疑問だといったものがございました。

北側ロータリー中央部の出入り車両出入口位置に関するものは、具体的には、北側ロータリーに駐車場等を設置する場合の車の出入口は人家がある東西側とせず、道路幅の広い南側、または交通量が見込まれない北側とすること、といったご意見をいただきました。今後の駐車場等を計画する場合は、南側、北側含め最良の箇所を検討してまいります。

なお本日ご説明する検討案2では、規模を縮小した駐車場を駅から遠い側の北側に設定しております。

続きまして5枚目です。細部設計に関するものは、例えば南北に松のシンボルツリーを植えて欲しい。あるいは、松は落ち葉で自転車が滑るのではないかと不安になり、また腐敗するのに時間がかかり道路が汚れるので賛成出来ない。といったご意見でした。今後詳細を検討する中で参考にしてまいりたいと思います。

続きまして、自転車等の利用者への啓発に関するご意見につきましては、駐輪場への啓発看板の設置や、警察とも連携した指導に取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして一部施設、または施設全般に賛成する意見もございましたが、施設の取り止めを求める意見に比べて少ない状況でございました。

ロータリーへの施設設置等に関するものにつきましては、日曜市の開催や、球技が出来る広場、公民館分室や、ミニミニコミュニティ施設があっても良いといったご意見でございました。市としましてはロータリー車道部を多数の方が横断する可能性がある施設につきましては、安全上の懸念があることから検討案には盛り込みませんでした。

続きまして、その他の意見ですが、2件以下のものはまとめておりますが、47種類分けております。駅東側の踏切の拡幅を求めるもの、北側ロータリー外周道路への乗降場の配置に関するもの、北側ロータリーの土壌に関して問うものがございました。こうしたご意見を踏まえまして、2つの検討案を作成いたしました。

まず検討案1としまして、いただいた多くのご意見を踏まえ駐車施設の整備は行わず、全体を緑地とするものです。

北側ロータリーにつきましては、周辺や内部に低木の植栽を行うものです。皆様からご意見がありました黒松等の高木植栽につきましては、生育にふさわしい場所が一部に限られることから、低木のみを植栽としております。また、公園にすること、或いはトイレなどの施設を整備することにつきましては、不特定多数の方が立ち入って利用することから、交通安全上、懸念があると考え、人が立ち入らない緑地として計画をいたしました。

一方、南側ロータリーにつきましては、特に施設を設けず、黒松植栽地と一体とするものです。なお、ロータリーの車道の部分、車道は国道部分になりますが、北側ロータリーにつきましては、大型車の乗降場を1ヶ所なくし、タクシー乗り場の位置を移動した計画図としております。現在のタクシー乗り場はエレベーターから距離がありますので、ロータリー中央部とは別に乗り場の変更を関係機関と調整していきたいと考えております。これは次の2案と共通でございます。

次に検討案の2です。北側ロータリーにつきましては緑地を基本としておりますが、旧建設省監修の駅前広場計画指針で、駅前広場の交通機能を支える施設として挙げられている駐車場の規模を限定して整備し、鉄道利用者等の利用者の利便性向上を図るというものでございます。南側ロータリーは当初計画案にありましたタクシープールの整備を行うというものです。

なお、北側ロータリーの駐車場につきましては、この整備の方向となりましたら、位置、台数は引き続き検討いたしますが、位置は住宅を避けることと、駅側では停車車両と交錯することから駅から遠い側が有力と考えております。また、台数は、駅前広場計画指針を根拠に算定すると、5台程度必要になると試算しております。また南側タクシープールはこの形状で4台分となります。タクシープールにつきましては、駅前広場計画指針を根拠に必要な台数を算定すると、現状の菅野駅では不要ということになりましたが、いただいたご意見で、南側に駐車施設を求めるもの12件のうち、タクシープールの整備を可とするご意見が7件ございましたので、計画をいたしました。

以上の2案ですが、当初案にありました大型車待機所につきましては、地元でも使うことはないというご意見もあり、また警察も、移動交番用地として必要ということまではないということでしたので、計画案からは除いております。

検討案の説明は以上となりますが、本日正午まで、ホームページ上で寄せられた意見についてご説明いたします。ホームページ上、この検討案1と2をご紹介します。

どの案が良いかという問いに対しては、全体ではですね、回答が8件ございました。その中で、検討案1が良いというものが5件ございました。2の方が良いというご回答が2件、その他のいうご意見が1件ございました。その他の回答としてはコンビニの整備を求めるというようなものでございました。

自由に書いていただく欄もありましたので記載されたご意見を少々紹介いたしますと、駐車場が出来ると公園で遊ぶ子供にとって危ない、或いは、駐車場があるとありがたい、タクシープールはいらない、北口公園にトイレを設置して欲しい、他の公園にはあるのに、なぜこだけ防犯上の理由で設置しないというのが理解出来ない、といったものがございました。ご説明は以上でございます。

市（司会） それでは、これより質疑応答に入りたいと思います。マイクをお渡しいたしますので、ご質問、あるいはどちらの案がいいかといったご意見がある方は、挙手をお願いいたします。

なお、ご発言の際に、受付で緑の名札を渡していると思いますが、そちらに番号が記載されておりますので、番号をまず教えていただいて、ご意見等を仰っていただけたらと思います。それではご質問のある方挙手をお願いいたします。

参加者 1) 市川市の職員の方に、これらの仕事等について、大変感謝いたします。F A Xから来た意見、意見に対する回答を作成は丁寧な仕事かなと思っています。

検討案が2つ用意されているが、ほぼ前回の会合の意見が反映されているんじゃないかなというふうに思っており大変評価しています。

2月11日の市議会だよりに菅野駅のロータリーの件が質問にあがっていて、Y o u T u b e で視聴した。越川議員がこの件で質問し、藤田部長に対しては、住民が全く無視された形で、計画を進めていこうとしたことを、結果的には反省させられていたとか、反省されて、この中には、住民の意見をしっかり聞いて進めていくっていうことを約束していました。そして、そのあと田中市長も、住民の意見を重視して、時間をかけて進めていくと、約束されました。そして、その後、越川議員も、この問題を最後までしっかりとやり遂げるとおっしゃってくださってます。その時に、これも急がないと。仮に3年間ぐらい、このままになっても構わないじゃないかぐらい。やっぱり、住民の意見をまとめ上げて、あんまり後悔しないようなものを作っていきたいというふうに越川委員はおっしゃっていました。

ここから少し意見を述べたいと思います。で、この通りで私の中では、計画はほぼ白紙になっていると理解しています。駐輪場以外ですね。で、検討案1と検討案2のどちらかを選ぶということでは、なくなっているんじゃないかと思います。

意見書番号で、13番の方が、素敵な絵を書いてくださって、何か憩いの公園みたいな形にして欲しいというご意見でした。またね、意見と市の対応方針の6番の中に、市川市にはスケートボードパークが無いから、スケートボードパークが何か作って欲しいという意見もありました。

最初私は、税金を無駄に使うんだったら、何もしないで欲しいというふうに思ってたんですけども、私の今の意見を申し上げると、何かを作っていたきたいなという

ふうに思っています。ちょっと近所のね、お住まいの方には、ちょっと怒られちゃうかもしれないけれども、今出たスケートボードパークですとか、仮に、周りをしっかりネットで囲んで、ボール遊びが出来る公園とか。もしかしたら、あの所にしっかりとフェンスを作って、保育園なんか作ってあげたら、それこそ若い子育てのご夫妻といえますか、その方たちには、重宝されるのではないかなというふうに思っております。

ただし、先ほど2回ほどご説明があった通り、6番の中の回答で、なおロータリ中央部での多くの人が集まる施設を整備することについては、安全上の懸念があると、検討には盛り込んでおりませんとあります。ただしね、冷静に考えて、ここからは、私の質問なんですけれども、この北側のロータリーに車が入ってくるという、私の考えてるルートっていうのは、大きく分けて3つあります。

南側から14号線を南側から入ってきて、踏切を渡ってアーデル通りではない左側の狭い道を行ってロータリー入る。外環道298号線ですかね。華屋与兵衛の所から、こそっと入ってくるルート。

もう一つ、外環道を、今度は南側から来て、日出学園の横から何かすごくアクロバティックな、こういう所から入ってくるルート。

あと、アーデル通りからテイクアウトのどんぶり屋さんの所から入ってくるルートみたいなものもありますけれども、大きくして、この3つのルート、ぐらいたと思うんですね。それが果たして危ないのでしょうか。そんなに車が、何かあそこで物を作って公園を作るっていうことが危ないのでしょうか。で、この13番が書いてくださったとか、その、ロータリーの周りに、3ヶ所、横断歩道を作ってるんですね、書いてあるんですね。だからしっかり横断歩道を作って、道路に、ハンプっていうんですか、段差を作ったりしながら、スピードが出ないようなことをするっていうことを、することによって、安全上の懸念っていうものは払拭出来るのではないかと思うわけです。この件について、ちょっとお答えいただけますか。

市) ご意見ありがとうございます。今日、一応市としては、2案、こういった形で皆さんに、まず色々声をお聞きしてですね、色々な、多かった意見を集約させたものとして、ご提案させていただいております。

また、そのロータリーの中のことにつきましては、同じようにこれからどういうふうにそこを整理しなきゃいけないのか今日、皆さんのご意見を聞いた上で、また出来るのか、出来ないのか、そういったものも含めて検討させていただきたいというふうに考えております。

参加者1) ですから、その先ほどのご説明もそうなんですけれども、はなから、安全上の懸念があるから、何にも作れないんだっていうことでは、進まないと思うんです。で、先ほど申し上げたように、田中市長も、越川議員も、ゆっくりやりましょうよ。じっくり、みんなで意見してやりましょうよ。二つに一つじゃないですよっていう話をしてるんだと思う。だから、まずその、それが、前提で、真ん中に何も作れないんだよって

う所から始まっちゃうと、何もならないっていうふうに思っております。

ごめんなさい。それで、もう1つ、ちょっと、今の件は、これで終わりなんですけれども、前回私がね、ここで申し上げた意見と市の対応方針の14番に書いていただいています。本当に私これずっと何十年前から懸念してたことで、とにかく菅野駅の踏切の下側が、渡った所が非常に狭くて危ない。で、前回申し上げて書いていただきました。それに対して、踏切の安全対策は、踏切だけではなく、周辺も含めた対策が必要になってくるので、この件については、今後の課題としますっていうことは、私はその危ないなって思いながら、どこに言っていいんだろうか、警察なのか、市なのかって思ってた所だったんですけども、ここで今後の課題っていうふうにお答えいただいているので、この先は、先日書いた通り、本当に大した問題じゃないと思うんですよ。そこだけに関して言えば、踏切の機械を、八幡側に5mだけ動かして、ちょっと下に板敷いただけで全然違うんだと思う。そんなもんじゃないって言われるかもしれませんが、その辺も早急に、考えていただきたいなというふうに思っております。

最後にね、意見と市の対応方針の60番の件。意見番号が3番の方の話で、駅北側ロータリーに接続している私道を一般通行出来るよう関係者にあたるとし、このことに対して市は、私道は行政の財産ではないことから、地域の方々と相談いただきたいと思っております。市の回答は、最もだと思っております。その通りだと思っておりますし、それ以上のことは言えない。

私、90歳の母がいるんです。で、その母が、あの道を通ろうとしたら、家の中から、その私道区分所有の方が出てきて、その方に、うちの母は、母曰く恫喝されて、大変怖い思いをしたっていう風に思っております。せっかく、菅野の駅にエレベーターができたのに、悲しいわねっていう話をしています。それ以来、90の母は、京成電車に乗るときは、踏切を渡って、南側のエレベーターに乗っているそうです。

この説明会はね、自治会と関係もありますし、自治会が行っているわけでもないということもわかっています。市が何も出来ないのもわかっています。ここで申し上げることではないかもしれないですけども、ここに来られてる、来た皆さんに知っていただきたい。まあ、わからないけど、その土地の所有者の方も、本当に近所ですから、この説明会に出席されているかもしれない。権利は権利として主張される気持ちもわからないではないですけども、私の希望として言わしていただければ、菅野、平田にお住まいの皆様には、広い心を持って、日々を送っていただきたいなというふうに、願っております。ごめんなさい。この問題は関係ないことで失礼いたしました。ごめんなさい。失礼しました。ありがとうございます。

参加者2) 私からの大きく3点、発言をしたいと思ってるんですけど、まず1点目。これは確認をしたい事項でございます。一応、大型駐車場建設は、白紙撤回になりましたけど、そもそもこれを立案するにあたって、どのような、要綱に基づいて、駐車場建設を立案するに至ったのか。それから、この収用台数規模、これも、どのような予測、需要予測



に基づいて立案したものなのか。この点をちょっと確認しておきたいと思います。と言いますのは、今後二度と同じようなことを繰り返さないようにするには、こうした確認をすることが、しておくことが、極めて重要だと考えるからです。

次に大きな2点目です。これは検討案1、2に関する私の意見ですが、私はタクシープールがない案、何もない方の案、に賛成でございます。もう一つ、南側に、タクシープールを設ける案に関してなんですけど。これはタクシー協会などに事前に伺って5台ですか。そういう想定をして、立案したものなのかどうか。この点はちょっと確認をしたいと思っておりますので、お答えいただきたいと思います。

もう1つは、緑の低木の植栽帯にするという案になっていますよね。低木を植えるだけでは、あまりにも、抽象的過ぎますし、当初の計画に駐車場にちょこちょこしていたんでしたっけ。金木犀では全くお話になりません。南口には中高木が植栽されてますよね。逆対象的な形で、そんなに大きな違いではないんで、これは3年から5年ぐらいの黒松であれば植栽可能なはずですよ。あの黒松っていう木はですね、桜なんかと違って、横に伸びて安定するのではなくて、まっすぐ地中に、垂直に伸びて木を支える樹木ですので、それは、おのずと成長をとめてしまいます。ですからその辺を十分ご理解いただいて、これはその後、引き続き道路建設課とするのかどうかは、わかりませんが、十分、黒松を植栽することは、可能だと思われまして。これに関しては提言なんですけど、外環の敷地、菅野駅周辺ですね、この黒松の移植と、管理に関しては、国交省の関東地方整備局の依頼で、樹木医でありランドスケープアーキテクトの専門家である「塚原道夫」さん。樹木指導をずっとやってこられました。更に今、千葉大の名誉教授をされている「藤井英二郎」さん。この方、街路樹木界の日本における第一人者です。この方に色々意見を聞くことができれば、最善だと思います。

市) ご意見ありがとうございます。まず大型駐車場と駐車場、何に基づいて計画したかというお話でございますけれども、こういった施設に関しましては主としては今皆様ですね、利便性の向上というか、利用にあたって便利な方向で進めたいというような所から、計画を盛り込んだものでございます。駐車場についてですが、駐車場につきましては、コインパーキングの事業者、こういった所にヒアリングをしました所、1日当たり大体17台です。こういった、平均利用が見込まれるといったような、そういった調査をした結果、割り出したものです。で、我々としても近隣ですね、駐車場の利用状況を確認した所、大体約8割程度、埋まってるというような状況から、17台を、すいません7割程度、駐車場が埋まっている状況が見られましたので、これを割り戻して大体25台といった所で計画したものでございます。

続いてタクシー協会についてでございますけれども、こちらも同じようにタクシー協会の方にヒアリングを行っております。タクシー協会のヒアリングの中では、5台程度設けて欲しいといったご意見もありましたので、これを反映させたものでございます。

最後にですね、黒松を植えられないかというお話ですけれども、ちょっと前回のご説明会の中でも、触れてはいるんですけれども、その我々の方の回答としましては、北側ロータリー内の地下っていうのは大部分がですね、地下の外環道路のトンネルの荷重を減らすためにですね、特殊な軽量化した土を使っております。この土の表面の深さが、地上から2m程度となっております、高木、こちらが通常の管理で生育させられるのは、普通の土の厚みが3m程度必要だといった市の公園部門のですね、経験上のことから、そういったことを考えております。将来の育成を考慮してあえて高木を入れることはしなかったという計画になっておりますので、その辺も踏まえまして、現状では、高木はちょっと考えておりませんということになります。以上でございます。

参加者2) 今、北側の2m、これしかないということ、これ全部2mですか。

市) 今、スライド出しますのでお待ちください。これ、北側のロータリーの中の、どの程度土壌の厚さが、通常の土壌の厚さがあるかというものです。黄色の部分、特殊な土壌の区域から外れている場所、または3m以上は確保出来るというような場所で、このように、なんていいますか、外側外周部分のちょっと一部に限られていたという状況から、高木は入れなかったというようなことでございます。

参加者2) 南側ロータリーには一部黒松が植栽されていますが、こちらは、深さどのくらいあるのか。

市) 南側につきましては、市の方では植栽という所が、今回予定がなかったものですからこういった検討というのは行っては、おりません。

参加者2) それ比較しないと、意味がないので、後でよろしいですので、もう一度、関東地方整備局にお伺いして確認をお願いします。

市) そういった高木もですね、植えられるかというお話とか、また低木に関しても植種とかですね、そういったものを国と協議する必要がございますので、その辺も踏まえまして、また改めて回答出来る場でお答えが出来ればと思います。

参加者2) それと、私の3点目の藤井先生、塚原先生の名前を出して検討をお願いしたいというのは、まさにそのことでございます。

市) ご意見ありがとうございます。

参加者3) まず時間が限られていますので、皆さん、色々ご質問したいと思いますので、ぜひ、質問される方は、手短にご協力をお願いしたいと思います。

私まさに北側のロータリーの周辺に住んでおまして、ご意見をお伝えします。まず、今の交通量で十分、子供たちの危険を感じております。日出に通う子供たちを中心に、多くの子供たちが通られますし、子供たちとっさの動きをしますので、車を運転していると非常に危険です。あと、この時計まわりの、一方通行ですので、住民からすると、駐車する際ですが、バックでしか入れられないですね。バックで入れるって非常にやっぱり注意が必要です。同じように、今回案として提出された駐車場ですけど、これバックで入れるか、バックで出るしか出来ない構造になってます。これ、また新たに、死角

を作ることとなりますので、是非ともやめていただきたいと思っております。以上です。

参加者4) 今日の説明を聞いて思ったんですけど、まずロータリーありきで考えてるから、不特定多数の人が集まるとか、安全上の問題があるとか、そういう発想になるんじゃないですかね。ロータリーじゃないという発想から、こうすればいいんじゃないか、というふうなものを作った方がいいんじゃないかと思います。例えば、北側で公園との間の道路、あれっているんですかね。公園側にももう1本道路あるんですよ。もしくは、もう駅前をぐるっと回るようにしないで途中でぶったぎってしまう。行けないよ、というような形にすればですね、まあ不便だから行かないとかですね、安全上も、いい方向に行くんじゃないかと思うんですけども、まずロータリーありきでやってという考えをやめるべきじゃないですか。今日の説明を聞いて思いました。以上です。

参加者5) 今住んでいるのはですね、北口公園のすぐ横に住んでいる者です。2つばかりお願いします。前回の時ですね、南口のことでですね、いつも思ってる、感じていることをちょっと申し上げます。14号線からですね、この北口にくる道路なんですけど、2本ありますが、入っていきますとですね、特に利用が多いのは、外環沿いの道路なんです。ちょっと細い道なんですけど、そこから入っていきますとね、これ菅野駅前でぐるっと一周りしないといけないですね。これはまっすぐ行けなくて、これはものすごく不便なんです。これ、一方通行やめて欲しい。そのためにはですね、公園の入り口を少し削って道幅を広くすればいいと思います。これ通っていただければわかります。タクシーの運転手もなんでこんなになってるんだろうというね。そういう変な道ですね、ぜひとも改善していただきたいと思います。

それからもう1つ、先ほどの公園にすればいいとか、トイレを作ればいいとか、色々出ましたけど、実は私、大変困っていることがあります。北口公園のそばに住んでおりますが、トイレがないもんですからね。私の家の横です。塀に向かって。トイレなんで作らなかったという、町会に聞きますと、菅野2丁目の町会長が反対したから出来なかったというね、話をしました。防犯上作らなかったと。これね、困ってる。善良な人間が公園を利用しているわけじゃなくてね。ゴミも捨てていく。あとスケボーですか。絶対やめた方がいい。これは、ちょうど坂になってるもんですから、当然、スケボーで滑るんですね。これは非常に危ない。道路がスケボーの通り道になっている。何回か警察に連絡してですね、取り締まるように言うんですが、警察がいなくなるとまた始まる。また、たまり場もありましてですね。そこにはいたずら書きとかがたくさんしてある。毎回、ペットボトルも散らかっている。だからへんな施設は作らないで欲しい。以上です。

参加者6) 菅野に住んで約20年ですね。越してきたときは静かでびっくりした。これが第一印象です。新小岩に住んでたんですけど、要するに、3軒隣に道があるんです。家があったら道路は見えないんですけど、そこを歩いている人の会話が聞こえる。いや、すごい所だな。非常にいい場所だと思います。静穏で静かな所という、私のイメージが、

来たとき。ですからこの検討案1を見ると、この通りです。要するにシンプルでベストなんです。私が来た当時の状況がこれだと、多分これが維持出来るでしょう。というのが第一印象ですね。ですから私の感じとしては、できれば一案を通して検討案1っていうのが一番ベストだろうというのは第1案。

それでもう一つ、ここへ来て一番困ったことは、私、2丁目なんで、道が狭いんですよ。市川はこんなに道が狭いのかというぐらい狭いですよね。で、一番問題になるのはですね、ここにきて一番問題になるのが、自分の家の車は自分の家の駐車場に入れればOK。何かを頼んで業者が来ますよね。業者って歩いてくるわけじゃない。車で来るわけです。荷物、止める所はない。駅の近くです。止める所がないんで、業者の人は荷物を置くと、また別な所で車を置きに行くわけです。何か時間がかかってしょうがない。どうしても家による時は自分の車を事前に、どっか近くの所に移動させておいて、そこに入れてやるというのが、実際そうですよね。

それで路上にとめると他の車の妨害になります。ですから2案の中にね、駐車場の大変いんな意見が出ますけど、駐車場を何台か設置するというのは、私は非常にいいんじゃないかと。

場所とかっていうのは、色々検討してもらいたいんですけどね。実際ここで生活してるものとしては駐車場はあった方が、外から誰か来た時に、特に業者ですね。止める所がないのでね、こういうのがあると、寄りやすい。駅前にありますから、そこを使ってくださいっていえるわけです。それが、私の、この検討案1をですね、見て感じた所ですね。

それでもう1つ、このタクシープールってのはなんで、タクシープールなのだろうと。ホームページを見てもこの話が結構出てたんですけどね。これが何のために、必要なかなと。見ていただければわかるんですけど、菅野駅の周りに商店はないんですよ。商店がない駅なんていうのは、珍しいんですよ。何もありません。1つやっぱりちょっとあったんですけどね。それはいつのまにかなくなってしまって、ないんです。お米屋さんがある程度ですね、近く。米屋さんだって知らない、全くわからないです。そういったことですから、タクシーを使ってくる人がいるのかなと。タクシーを止める必要があるのかなというのは、これを見たり、ちょっと実際に20年、生活してね、感じた所ですね。駐車場っていうのは道が狭いだけに、なんと不便なことか。そんなに毎月あるわけじゃないですけど、年に数回来るんですけどね。その時は大変苦労しています。というのが、実際生活している、私の感じ。以上です。

参加者7) この北口ロータリーの計画について菅野2丁目の自治会に、市は説明もなければ、それから相談もありませんでした。突然、こういうような計画をされて、11月22日、自治会から説明会を申し出たわけです。このようなことがあったという事実が2度と、こういうことが起こらないように、市は、お願いいたします。

外環道路の建設で住民は、とても長い間、我慢をし、それから不便を感じてきており

ました。その中で、国交省のホームページで緑の道というような、北口ロータリーに緑をというような説明で、住民は今までやってきました。突然このようなタクシープール。それから、駐車場、大型駐車場、こういうものを市が勝手に作って、そういうことをしていただければ、私、自治会としても憤りを感じております。自治会の正義にかけて申し上げたいと思います。皆さんの声を、ご意見を聞きまして、とにかく閑静な住宅地でありますので、緑のロータリーをと思っております。皆さんの折衷点を見つけて、その中で、菅野駅に降りた時に、ほっと出来るような、そんなロータリーにさせていただきたいと、常に思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

参加者 8) 前回も今回もいろんな意見が、意見交換をしているのかと思うんですけども、これ最終的には、全員の意見が綺麗にまとまるってことはないと思うんですけども、最終的には住民投票とかそういう形で決まるんでしょうか。

市) 今回の説明会もそうですし、あと、今日来られていない方も中にいらっしゃると思いますので、また意見のですね意見募集という期間を設けて、我々の方は、それを持ってですね、大方の方が、どちらの方に、計画の方を賛成していただけるのか、そういった所を相対的に見てですね、判断させていただきたいなというふうに考えております。なので、強引にやるとか、そういうことは全くありませんので、あくまで皆さんの意見を集約して、ある程度、市の方でも出来ること、出来ないこと、その辺を反映させた上で、また皆さんに提案して、そこで、皆さんの理解を得たいなというふうに考えております。そういった答えでよろしいですか。

参加者 8) 最終的には、市が決定することになるんですかね。

市) 市が決定する、というか案を示して、皆さんがある程度、皆さんが納得いただけるような状況であれば、それで進めさせていただきたいというふうに考えております。

参加者 9) 学園を代表してご質問させていただきます。事実確認だけ、お願いをしたいんですけども、一番最初に、藤田部長が令和 2 年度以降、説明会をしていなかったということで、私が調べた中で令和 2 年度に住民説明が無かったと記憶してるんですけども、この事実関係を教えていただきたいと思います。最後にあったのは、2015 年のネクスコ主催で市が陪席をされたのが最後だというふうに理解しておりますので、その辺の事実確認をお願いします。

もう一つ、今回の 1 案 2 案に関しては、非常に色々意見を取り入れられたなというふうには拝見させていただきましたが、私ちょっと民間企業にいた時の感覚でいきますと、今、菅野 2 丁目の方々からのご意見が多いんですが、これ、平田地区の方々は、菅野の方が、駐車場入れるか入れないかということを決めれば、自動的にタクシープールが作れる、作れないっていうことに自動的に引っ張られてしまうっていうことになる案をご提示されているようにしか見えないので、これだと、一番最初の方もおっしゃってましたけども、住民の意見をしっかり聞いて、決めていくということではなく、意図的にこの計画案は進められていくのかなというふうに、疑念を持ってしまいましたの

で、その辺のご説明をしっかりとしていただきたいなという風に思っております。

また、最後ですけれども、何番目か、植栽の件に関してご質問された住民の方がいらっしやいました。我々も、やはり菅野にお世話になっておりまして、やはりこのすばらしい環境の中にある学校ということで、ここで運営をさせていただいておりますが、先ほどご担当の方が、土が薄い、土の質が違うというようなご説明をされていらっしやいましたが、私が調べる限りでは、以前、他のうちの学園のものもご質問させていただきましたけれども、2015年の段階で、市が陪席をされていて、ここの蓋掛けの部分の砂の薄さっていうのは、もうご理解されていたはずなんです。ということは、もう最初の計画からここには、低木しか入れられない、若しくは、いざ原案であった駐車場等々にするっていうことは、市は認識されていたと理解しておりますけれども、その事実確認、3点よろしくをお願いします。

部長) 最初の質問に関して私の方から。ちょっと説明では、ちょっと私が間違ってしまったのかもしれませんが、説明会は確かにしております。私が、冒頭申し上げた中では、令和2年度以降、説明をしてこなかったというふうに、ちょっと私、説明したつもりであったので、それはちょっとこの場を借りて、もし間違っていたら、改めて訂正させていただきたいと思えます。令和2年度以降、説明を一切してこなかったのので、そこに関しては、本来こういう説明会を設けて、意見を聞きながら、やっていくべきでしたと、いう趣旨で、お話をさせていただいたつもりですので、そこは、この説明で改めて、訂正というか、説明をさせていただきます。以上です。

市) 2点目の南側に関しまして我々としても、平田の住民の方々、町会通じてになりますけれども、こういったことの説明をさせていただいております。もちろん説明会を開きますので、我々の方も、集まるようにですね、チラシを配って今日の説明会もご案内しておりますし、町会だけではなく、こういった場を設けて、平田の皆様にもお集まりいただいた中で、こういった場を持って、ご意見をいただきたいというふうに考えております。もちろん先ほども説明しましたように、意見募集、期間も設けておりますので、そういった中で、平田の方たちにも見ていただきながら、意見は我々の方で集約するというふうなつもりでおりますので、それを踏まえて、同じように南口のですね、ロータリー計画といった所も、我々の方は検討していきたいというふうに考えております。

ご質問の3点目、北側ロータリーの土の状況を市としていつ認識することになったのかということですが、令和2年、詳細設計に入る時にですね、改めて条件を、設計のための条件を確認したところ、そういう状況になっていたという認知をしたということでございます。

参加者10) いくつかありまして、今日の会は、1案か2案を選べというのか、それとも、意見を聞いてこっからもう1回やり直しということなのか、それがちょっとはつきりしないので、その辺をお伺いしたい。この案が出たということは、大型車の駐車場、北側は、タクシープールではなくなった、そこからスタートだったと思えます。

それから2点目はですね、北側のロータリー。低木っていうのは、どの程度のものを低木というのかをちょっとお伺いしたいんですが。先ほどからお話出てますけれど、私がネクスコに聞いた所の話では、北側のロータリーを駐車場にするということは当初から決まっておって、ネクスコとしては、その結果、経費削減のために、北側の外環道路の天井の負荷を南側より少なくする、最初から北側については2mというのは決まっておいて、従いまして、北側については、土をたくさん盛って、大きな木を植えることはできませんというのが、ネクスコの説明でございまして、それについては、市川市とネクスコの間で、外環道路の天井というのはかなり前から決まっていたはずで、いつ頃からそういうお話をされて、そういう風になったのかということをお伺いしたいと思います。

それから最後に駐車場の件でございすけれども、今駐車場は菅野駅の八幡寄りの駅のすぐ出た所に、5台の時間貸し有料駐車場があります。それからもう一つ、2丁目13番地アーデル通りの脇に7台、駐車可能な有料駐車場があります。こちらの方は大きな駐車場で、2、30台止まるんですけど、大半は月極で大きな駐車場で、一部時間貸しになっています。それぞれの利用をチェックした所、駅の横の駐車場は、8割から9割ぐらい、平日は埋まっております、朝8時から17時半くらいまで同じ車が止まっています。それから、アーデル通りの方は、9割以上利用しておりますけれども、一部の車は2、3時間で入れ替えしています。何故かというのを見ましたら、ほとんどの方が、菅野2丁目の小さな狭い土地の中で新築されてる家。それから昨年度、6月の雹の被害で壊れた家の改修、こういう所の工事に来ておられる方です。従いましてその家の工事が終わると、その方々は、車は来ないと、こういうような状況です。それから夜間、それから祝日、土曜日、日曜日の利用は、1台から2台というような状況です。従いまして、このかなり一時的な利用であるので、恒常的な利用ではないということを考えますと、新たに駐車場を作る必要はないというふうに考えます。以上でございすけど、よろしくお願ひします。

市) 1案2案、今回の件に関しましては、前回の皆様の意見、あとは募集した意見、こういったものを、いろんな、何ですかね、この今回の計画についていろんな要望の多かったもの、こういったことを主に反映したものになっておりますので、1案2案はこれで、まとまればいい話ではあるんですけども、当然今日、こういったことを皆さんにご説明して、それは、その他にもいろんな意見が、今日は出るかとは思ってますんで、当然、そういったことを集約した上で、また最終的にですね、決めていきたいと思っておりますので、今日の段階で、これでどっちにしるとか、そういったことではございせんのでご理解ください。

参加者11) 新しく新設された階段が、南も北もあります。あれは市が作ったんでしょうか。京成の方が作ったんでしょうか。

市) 外環道路の事業者、国、NEXCOで計画して整備したものです。

参加者 1 1) 市も自治会も関与していない。

市) 市としてもそういった計画があるというようなやりとりではやっております。

参加者 1 1) 菅野駅を利用するものとしては、確かに階段ができたこと、うれしかったんです。新しい階段が出来たんだな、駅の方に行けるんだなというふうに思ったんですが、私ちょっと、外環を挟んで、真間寄りの方に属して二丁目なんですね。なので、菅野駅に行く時ってというのは、真間寄りの方の小さい踏切をいっぺん渡って、菅野駅の方に向かっていくんです。そうすると階段がちゃんと作られてるんですけど、八幡方面に向いてるんですね。何も一つもこちら側、真間寄り、要するに、西側の方に向いてる階段が一つもなく、全部東側に向いている階段が 3 個あるんです、南側の方の階段は。北側の階段はロータリーになってますので突き抜けるっていう形でもないので、皆さん右側だろうと、東側だろうと、北側だろうと、階段が出来るような形になってます。なんです、南側の方が、ここから歩道っていうふうに道路の所に標識ができて、自転車とかそういうものは一旦降りなきゃ行けない。今までまっすぐ行けてたのが行けない状態。歩いて行くにしても、そのまんま、階段はまたぐるっと周らなくては使えない状態。

大和田方面から来る方達も、結局は南側のこういった階段が向いてないので、駐輪場ありきの階段だけの様な気がして、住民が使いやすいような階段になってないような気がするんですね。この辺はどういうふうに対応していただけるのかなっていうのが。

あと、やはり駅を利用するには、踏切のそばに、ゴミ箱が置いてありますよね。わかりますか。あれが満杯になったりとか、いろんなものを置いたりとかして、風によって舞い上がったりして、というのが多々あります。そういうのは、景観を損ねることもありますし、それは安全上の問題にはならないのかなっていうのも思いました。

あとは、南側も北側も同じような形でロータリーができ上がってるんですが、そこを子供たちが通る時の幅はそんなになんていっていいんですかね。もともと菅野は道が狭いんですから。そうすると、その狭い所を、ぎりぎりの所で子供たちが、歩かなきゃいけない場所をどうにか、こうにか作ってもらえないのかなというのも感じました。以上です。

市) すいません、3 点。ご質問あったと思います。1 つ、階段の件に関しましては、ちょっとこれ、国の方にですね、そういったご要望があったということは伝えていきたいというふうに思います。で、その階段の設計のですね、考え方、その辺もちょっと国の方に確認しまして、次回の説明会であつたりとか、あとは、今回の皆さんの意見に対する答えの中で、ちょっとその辺の確認したことについてお答えさせていただきたいというふうに考えております。

よろしいですか。

で、2 点目のごみの集積所ですか。こういったお話もちょっと、関係部署の方にも確認したりはしたんですけども、やはりちょっとこういったゴミ置き場の問題っていうのは、地域でも色々皆さんどこにするかっていうのは非常に色々困った問題な所も



あるかと思うんですけども、ごみ置き場の設置場所っていうのは、その利用する方々でですね、決めていただいて、そこにごみの集積所であったりとかごみネット、そういったものをつけるような流れになってるということなので、その位置に関しましてはそのご利用する地域の方々の中でですね、ちょっと、ご判断いただきたいといった所は、答えになります。

参加者 1 1) 確かに自分達は、私はそこに属していませんが、何とでも言えると思われるかもしれませんが、あそこにあるのは、昔から、言い方おかしいですけども、昔あの辺に商店街が一杯あって、昔からあそこにありましたけど、そんなにひどくなかった。割と最近だと思います。車が来てあそこにポンと置いてとか、学生が来たりしてとか。自転車がポンポン置いて行ったりするからすごくなってる。住んでる人達がどうにかすればいい問題ではないと思う。

あそこにあるから通りがけに捨てていく人達も一杯いるんです。それを住んでいる人たちでどうにかして下さいっていうのはなんか無責任というか、どうにか皆さんで考えませんか、菅野駅をきれいにするならば、ついでにといたらおかしいですけど踏切も綺麗にしませんか、ということで、景観がいい菅野駅にしていきませんかと私は言いたかった。

市) ちょっと関係部署の方にも、その辺の見解ってのはちょっと聞いてみますけれども、やはりごみ置き場の問題とやはりカラスの問題とか。確かに、ああいうかごのものっていうのは、カラス避けには非常に効果あると思うんですね。一方で、誰も見てなければ、今おっしゃるように、通りがかりの人が捨ててっちゃうと、そういう問題も非常にあると思うんですよ。そこは地域の方々がどう考えるかといった所もありますし、ちょっと関係部署にも相談してみますけれども、例えばそこをネットに変えて、ちょっと面倒ですけども、当番の中でネット回収することによって、ごみのボックスがなくなる、そういったことで、捨てられる環境を、むやみやたらに捨てられる環境をなくすっていったことも一つあるかと思うんですね。ですので、そういったことも、利用者ともあわせながらですね、どういった手法がいいのか、ちょっと関係部署の方にもちょっと相談を投げかけてみますので、はい、よろしくお願いします。

参加者 1 1) 菅野の線路沿いのここから歩道っていう看板っていうのは、どういった意味合いがあるのかなと。右側の線路沿いの所に・・・

市) あ、すいません、ちょっと具体的な場所がちょっとわかりにくいので、後で個別にお話聞かせていただけますか。

参加者 1 1) 菅野駅は行ってらっしゃいますか。

市) 行ってます。

参加者 1 1) ロータリーの近辺とか歩いてますか。

市) 歩いてます。

参加者 1 1) ここから歩道という看板がある所がある。

市) すいません、今おっしゃったのは、京成の線路沿いで、真間の方から南側の所、南側を行って駅広に、住宅が切れる所で、はい。なった所ですね。

参加者 1 1) そうすると自転車は一遍そこで降りなきゃいけないとか、バイクは通れないとかっていう状態なんですけど。今までは自転車もバイクもまっすぐ八幡の方に向けて通行ができた。だから、真間から菅野の方に抜けて八幡の方にまっすぐ行くことができたのが、それが出来なくなった。まして、ここから歩道って書いてあるのは、やっぱり降りなさいということなのか。降りて、車道に出て、引いていかなきゃいけない。それってすごく不便ですよ。

市) 交通のルール上ですね、やはり歩道を車両が走るわけにはいきませんので、そこはきちっと降りて渡っていただく。今、横断歩道もそうですけど、信号機、自転車乗りながら、信号守る時は、車両の信号と同じように、交通ルールを守らなきゃいけない訳です。で、当然横断歩道の信号で渡る場合は、自転車乗ったまま渡ることは出来ないんで、きちっとそこで、横断歩道の信号を守って渡る方については、きちっとそこで降りていただいて手で押して渡るってのがルールになってますので、歩道に関してのルールっていうのも同じことになります。

参加者 1 1) 今まで通れた道が通れなくなったことになりますよね。今までは、そこに何もなくて普通に通れてた訳ですから、

市) 歩道が出来たことで、やはりそれは交通ルールとして降りて渡っていただく。

参加者 1 1) 駐輪場が出来たから、駐輪場を作ろうとしてるから、やっぱまっすぐ通れるようになりましたって、市の方に聞いた時には、まっすぐ通ることはできます、と。市の方から私はお答えを聞いたことがあるんですね。なので、安心してたんですけど、実際出来てみたら、通ることが出来なくて歩道になってたので、これは通れないじゃないかと。市の人の説明が、私はだまされたというか、違ったなっていうふうに思ってしまったんですが。

市) すいませんじゃ、ちょっとすいません時間の問題もあるので、個別にちょっと伺います。

参加者 1 2) 4点、コメントと提案をさせていただきます。まず1点目、前回11月22日の発表ですね。私冒頭苦言を申し上げました。その結果、こういう形で、住民の皆さんの意見等を反映して、さっき〇〇さんもおっしゃってましたけれども、大型の駐車場がなくなって、1案が出てきて、これでまず間違いないかなということ、私は思いました。

2点目。今日、当然皆さんの意見を全部反映するのは無理なことで、少なくとも1案と2案というのをお示しいただきましたので、その中で私は1案をお願いしたい。理由は2つあります。1つは、何故この前11月22日の案からここまで大幅に変わったのか、これはやはり住民の総意として、緑豊かな、植栽にしたいと思った。特に菅野駅、文教都市のことをこの前申し上げました。それを含めた経過を含めて、緑地をとということをお願いしたい。

もう一つ、駐車場の意味がないと私は思うのです。理由は、先ほど建設省の計画指

針で、鉄道利用者の利便性ですか、この向上のためにこの駐車場は4、5台設けたとご説明ありましたけれども、この前も話が出たと思いますけれども、正直菅野駅が、交通のこれから中核になって利便性が上がってこの駐車場が寄与する、建設省の方針ですね、これには絶対ならない。私30年菅野住んでます。ですから逆にこの駐車場を設けるということにおいて、子供の、北口公園ですね。うちの孫も遊んでますけれども、やはりこれは事故の可能性が多くなります。この前2月11日に接触事故があったように、ちょっと聞いております。それは子供さんかどうかわかりませんが、そういう形でなぜ駐車場はらないかということも申し上げました。これが3点目です。

4点目、これ私の思いつきの提案なんですけれども、この北側の道路ですね、駐車場に通じる。これはロータリーとして作ってしまったから、この利便性を考えてるんじゃないかと思うんです。私は極端に言うと、ここを道路をつぶして、むしろちょっと今これを掘り返すとかいうと当然また税金もかかりますし、ですからここをむしろ何ですか、花壇みたいにしてですね、一体化をして、植樹の全体的な緑にすると。低木というお話が出てますけれども、これは例えば緑地化とか、色々、市川には里見公園とかある。綺麗ですよ。そういうことがあって今後、この北口のロータリーに関してちょっと植樹一体のもので、どう作っていけばいいかと。そういうような形で今後の展開をお願いしたい。そう思っております。以上です。

参加者13) 私は菅野に住んで、80年になります。外環に反対しました、実は。ただし、今出来ましたね。この周りが一変しております。私、見ますとですね、新しい住民も増えており、また、旧住民ですね、私含めた老人も結構おります。ただし、変わったのは、この近所ですね、大きな屋敷がどんどん減り、新しい新興住宅ができており、新しい住民がどんどん増えております。北口公園もですね、新しい方に出来てですね、ヤングママや子供たちが結構集まっております。ただしその公園もですね、私は活用されていると思いません。どこが管理してるかわかりませんが、犬のペットの集まりみたいになっております。芝生もいつの間にか、なくなりですね、松の木もですね、植わったままです。ですので、私はですね、1案と2案ですね。大変苦勞があったと思うんですけど緑地っていうんですか。ただしこれはですね、非常にですね、管理、維持が非常に大変なことです。前市長ですか、ガーデニング都市なんて言いましてですね、あちこちの道路にですね、草木等、植えましたけども、ほとんど維持されておられません。庁舎の屋根の上もですね、はっきり言って管理できてないんじゃないかと思えます。将来的にですね、それこそ雑木林になって、住民の方々がですね、ちょっと落ち葉含めてですね、非常に生活に不便を感じるんじゃないかと思えます。松の木はですね、結構残していたでいて結構なんですけども。管理がされていると思いません。

私としてはですね、色々ご意見があったと思いますけども、まず1つですね、今の踏切の状態を見ますと、菅野駅前の北口、及び南口両方の広場に関してはですね、別々に考えていただきたいなと思えます。北側の住民、南側の住民ですね。なかなか行き来が

難しいかと思えます。ですので1つ、先ほど言いましたタクシープールの問題にしてもですね、南だけじゃなくて、北にも作っていただきたい。作るならば。

それからですね、駅前広場ということはなかなかですね、昨今、難しい状況です。せっかくこういう広場がある訳ですから、過去のことは、これ先のことを考えて、将来を考えてですね、ニュータウンの広場として考えるべきだと思います。ですから、今、必要ないからじゃなくて、5年先10年先、将来の子供たちのために考えた場合ですね。菅野駅を中心にしてるわけですね。駅前広場です。駅前のロータリーです。やはり駅ですね、交通アクセスの利便性をですね、まず第一に考えていただきたいなど。ですから、タクシーの乗り場とか、マイカーの駐車場、これもやはり考えたいと思います。

それからですね、大型車のスペースですね、これも反対が多いですけども、例えばですね、消防車とか、パトカーとか、また、公共の大型車がですね、駅前に行く場合に、地域に、周りにはそういったスペースありません。やはり、いつ使うかわかりませんが、緊急のためですね、そういうスペースもあって良いんじゃないかと。とにかく交通アクセスの利便性をですね、高めるのが、駅前広場の活用じゃないかと思えます。

それからですね、近隣住民の生活の利便性と安全ですね。こういう観点もやっぱり考えていただきたいと思えます。問題が色々あるでしょうけども、例えば交番ですね、駅前に交番がないというのは、ちょっとこれ如何なものかと。公園もあり、学園もあり、外環のですね、交通渋滞も考えられます。その点も考えてですね、やはり最低でも北か南どちらかに1ヶ所ですね、交番が必要ではないかと思えます。

それからトイレですね。これもですね公園の整備の時に、反対があって、できなかったんですけども、公園のある限り、トイレが、公衆トイレがあるべきだと思います。

それから、昔ですね、駅前周辺に、とか駅前にですね、何軒かの商店街がございました。今1軒もありません。外環の近くにコンビニができました。でも、学生さん、日出席園、国府台、それから市川病院の勤務の方等含めて、駅を利用する方おられます。それから、近隣住民もですね、いざという時にですね、緊急の買い物じゃないですけども、出来るですね、大きい施設は言いませんけども、せめてコンビニの1つぐらい、あってもよろしいんじゃないか。

また先ほど1つ出ましたけども、保育園ですね。せっかく駅前ですので、保育園等も考えてもいいんじゃないかと。そういうですね、交通アクセスと、近隣住民の生活、2面性、安全を考えた施設を作った上ですね、またスペースがあるならば、松の木じゃないですけど、樹木を植えたりと。昔、大きな家がこの辺に随分ありまして、結構良い風景でした。ただし、それは私はですね、忘れていただきたい。もう菅野はですね、新しい地域になる、近代的なシティ、新しい街になるという感覚でですね、そういう観点から、自分の庭みたいですね、広場を考えていただきたい。やはりですね、樹木を植えるっていうか、管理するのもいいですけども、その後、先ほど言いましたようにやりつ

放し。地域住民の人も管理しない。役所も管理しない。そういうことではですね、維持が出来ない、じゃないかと私は思います。それから、これだけの広い広場にですね、住民のためにですね、庭木っていうか、草木をすることというのは、莫大な、私は相当な市税を使う形になるんじゃないかと思えます。民間に委託するにしても、大変な費用に年間なるんじゃないかと思えます。この費用はですね、市川住民がすべて負担するわけです。地域の住民が負担するわけではありません。その点も考えていくとですね、1案の全部緑地化するという点に関して私はちょっと賛成しかねる部分があります。庭木は植えちゃいけないというわけではないんですけどもね。限られたスペースでいいんじゃないかと。あくまでも、交通アクセスの利便性、地域住民の生活の利便性、この2点を考えてやるべきだと、それからさっきも言いましたけれども、北と南は別々に考えていくべきだと。踏切1つではですね。一緒に考えることは難しいんじゃないかと思えます。どっちからかしたらですね、どっちかの反対の地域の住民から苦情が出るかと思えます。以上です。

市) はいありがとうございます。利便性のお話になりますけれども、当初、我々の方も大型駐車場だったりとか、駐車場、あとタクシープールといったことで利便性を考慮した上での計画ということでお示しさせていただいております。それに対して前回、いろんな様々な意見ご意見をいただいて、今回それを集約したものが、自然を取り戻したような形にさせていただきたいとか、そういった声が非常に大きかったものですからそれを反映したものが、今回の1案2案になるとご理解ください。それと、コンビニとか保育園のお話も出ておりますけれども、ここは道路区域になりますので、やはり建築物を建てるといったことは、非常に制限がかかってくる所だと思うんですね。そういった所もちょっと踏まえた上でご理解いただけたらと思えます。

部長) 今日、色々またご意見をいただきまして本当ありがとうございます。今、課長から話があった通り、そもそもここは国道の道路区域の中でのあくまでも利活用になるので、そういったことで、駅前のロータリーということで出発をしたんですが、今日いただいた意見は、そういったことを踏まえて、国の関係者にも確認をしながら、こういったものが、その道路区域の中でも建てれるのかというのは、きちんと確認を取っていきたいと思っております。

本来であれば、ちょっと我々の進め方にも問題があったのかもしれませんが、一応今回は案を2つ提案させていただいたので、本来、この案の1番がいいのか2番がいいのか。大方の案が集約出来るように、皆さんの意見をちょっと伺いたいなど。最終的には、ここに来ていらっしゃる方が、大半が1番がいいのかとかっていう、ちょっとその辺の掴みを、したかったんですけども。ちょっと色々意見が出ましたので、ちょっと参考にこの後、課長の方から、ちょっと参考に意見、確認だけはさせていただきたいと思えますけれども、今日はいただいた意見をきちっと踏まえて、できましたらこの後、案1がいいのか、または2の方が、自分としてはこのままでもいいよと。もしくは、

いや今、ご意見最後の方から出られたように、1と2どちらがいいかということではなくて、ちょっともう1度改めて、今の段階では1と2、どちらも言えないし、決め方も北口、南口を別々に、意見交換しながら、北南別々に決めていったらいいんじゃないかとかということもあって、1と2どちらでもないです、というようなこともあろうかと思しますので、あくまでもちょっと参考なんです、皆さんが今どうお考えなのか、お聞かせ願えればと思いますので、ちょっとマイクを代わりますので、意見をお聞かせ願えればと思います。すいません。

市) 今藤田の方がちょっとご説明しましたけれども、ちょっと私の方で、今、皆さんがどのようなお考えかといった所ちょっと、挙手ですいませんがちょっとカウントさせていただきたいと思えます。まず1案がいいんじゃないかという方、ちょっと挙手をお願いいたします。はい降ろしていただいて結構です。ありがとうございます。それでは、2案の方がいいという方、いらっしゃいますか。はいありがとうございます。その他、まだ考えがまとまっていないとか、あとその他何か他のがいいんじゃないかという方いらっしゃいますか。

(会場前席のほうから) 3にします。最初2に上げたのですが。

市) はい。じゃ、3番目の、どちらでもっていう方。はいどうもありがとうございました。

(会場前席のほうから) 数字を教えてくださいませんか。

市) 今集計した結果ですと、1案26人の方、2案が4名、3案といいますかここにはない、どちらでもというような方は今、8名になります。以上です。司会の方にマイクを戻します。

市(司会) 皆様、本日は長時間、お時間をいただきまして、ご参加ありがとうございました。

お手元の意見用紙がありますけども、こちらの方へ意見等ありましたらお出しただければと思います。

提出方法につきましては、直接お持ちいただくか、郵送、FAXでございますので、よろしく願いいたします。

では最後に、交通計画課長の方からご挨拶させていただきます。

課長) はい、すいません。それでは皆様本日は長時間にわたりご参加くださりましてありがとうございました。今日いただいた貴重な意見、踏まえまして、また我々も、あと、この1案、2案、あと、どちらでもといったご意見も踏まえまして、また色々関係部署であったりとか、あと我々の方でもまた案をどのように作っていったらいいか、ちょっと揉ませていただいて、またお示し出来る時期になりましたらご案内させていただきます、ご説明の方させていただきたいと思えますので、その際はまたよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

20:30 閉会